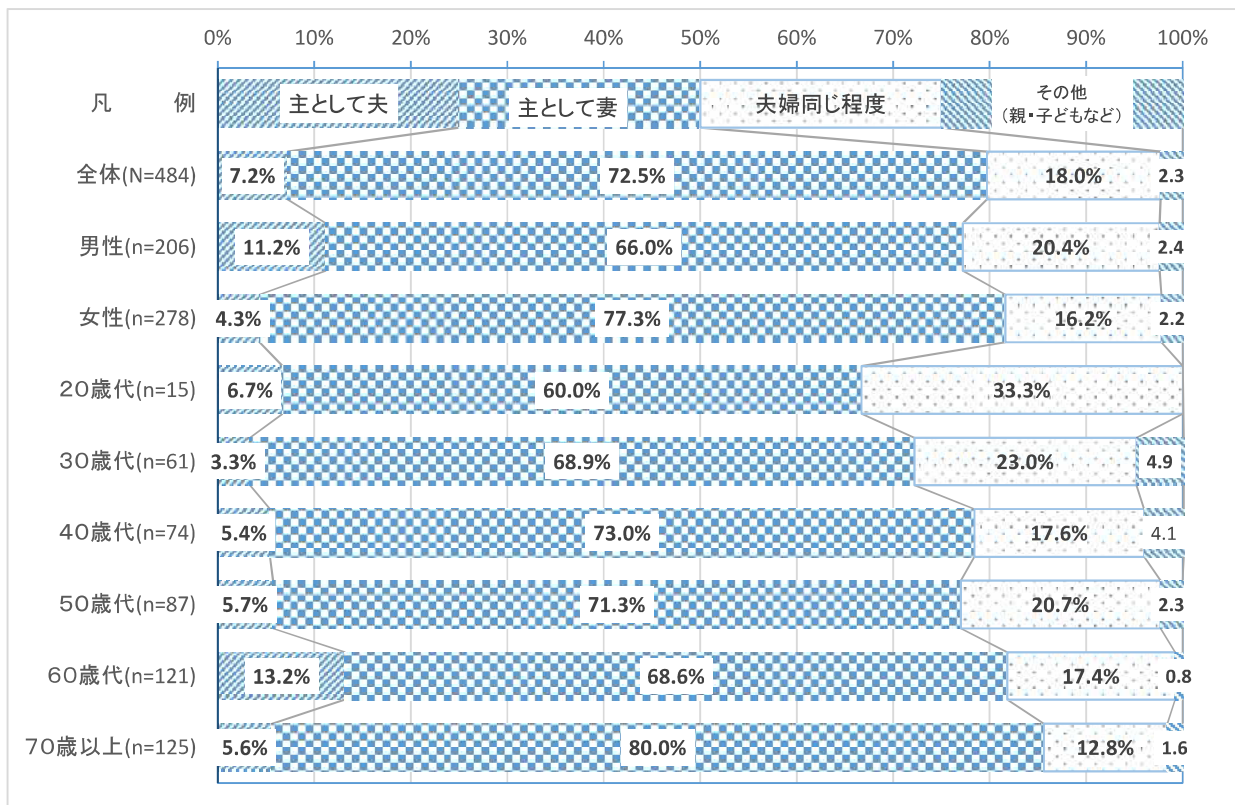


(1) 家庭生活の役割分担

問12 「結婚している（配偶者あり、事実婚含む）」方におたずねします。あなたの家庭では、次にあげる家事等を、主に誰が行っていますか。  
次のア～コのそれぞれについて1つずつ選んで○をつけてください。

《ア.（家事）掃除》



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は72.5%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は7.2%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

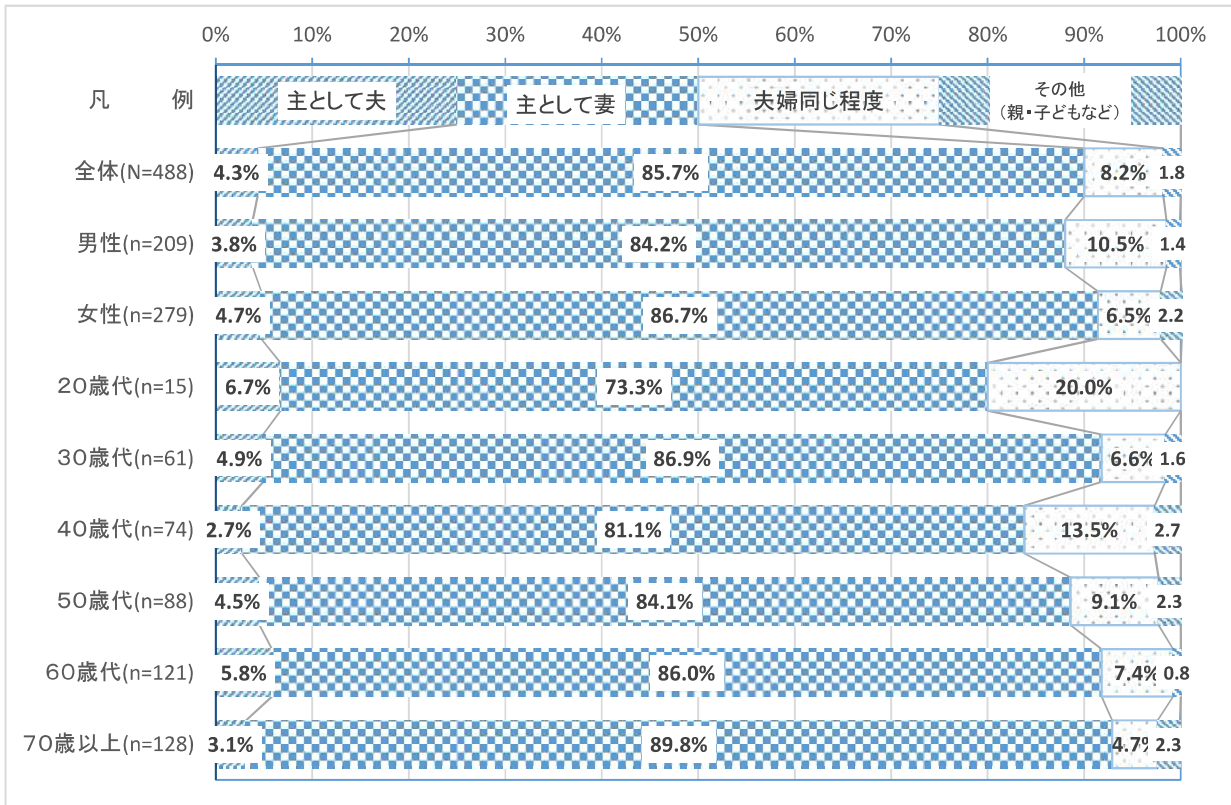
○「主として夫」と回答した人の割合は「男性」で11.2%となっており、「女性」の4.3%を6.9ポイント上回っている。

<年代>

○全ての年代において、「主として妻」と回答した人の割合が高くなっている。特に、「70歳以上」で80.0%と最も高くなっている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合が、「20歳代」で33.3%と最も高くなっている。なお、「20歳代」に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。

《イ. (家事) 食事のしたく》



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は85.7%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は4.3%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

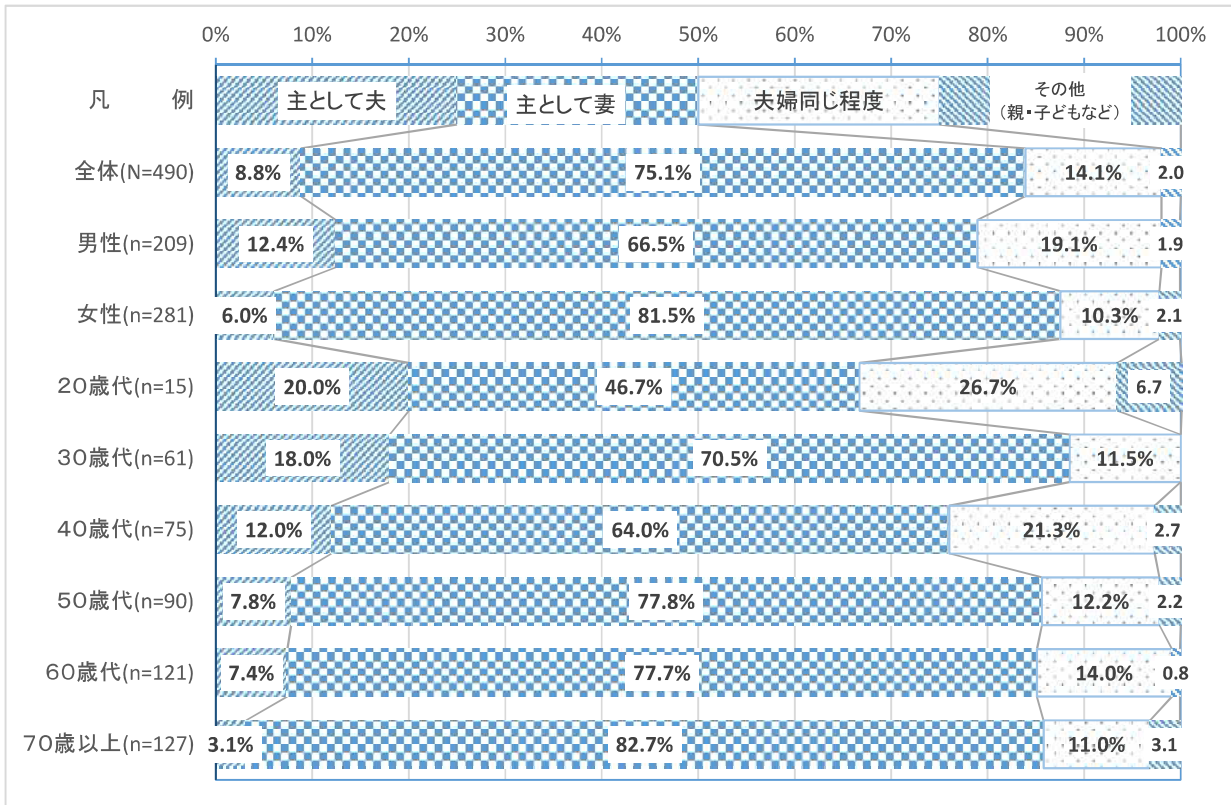
○「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で86.7%となっており、「男性」の84.2%を2.5ポイント上回っている。

<年代>

○全ての年代において、「主として妻」と回答した人の割合が高くなっている。特に、「70歳以上」で89.8%と最も高くなっている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合が、「20歳代」で20.0%と最も高くなっている。なお、「20歳代」に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。

《ウ. (家事) 食事のあとかたづけ食器あらい》



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は75.1%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は8.8%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

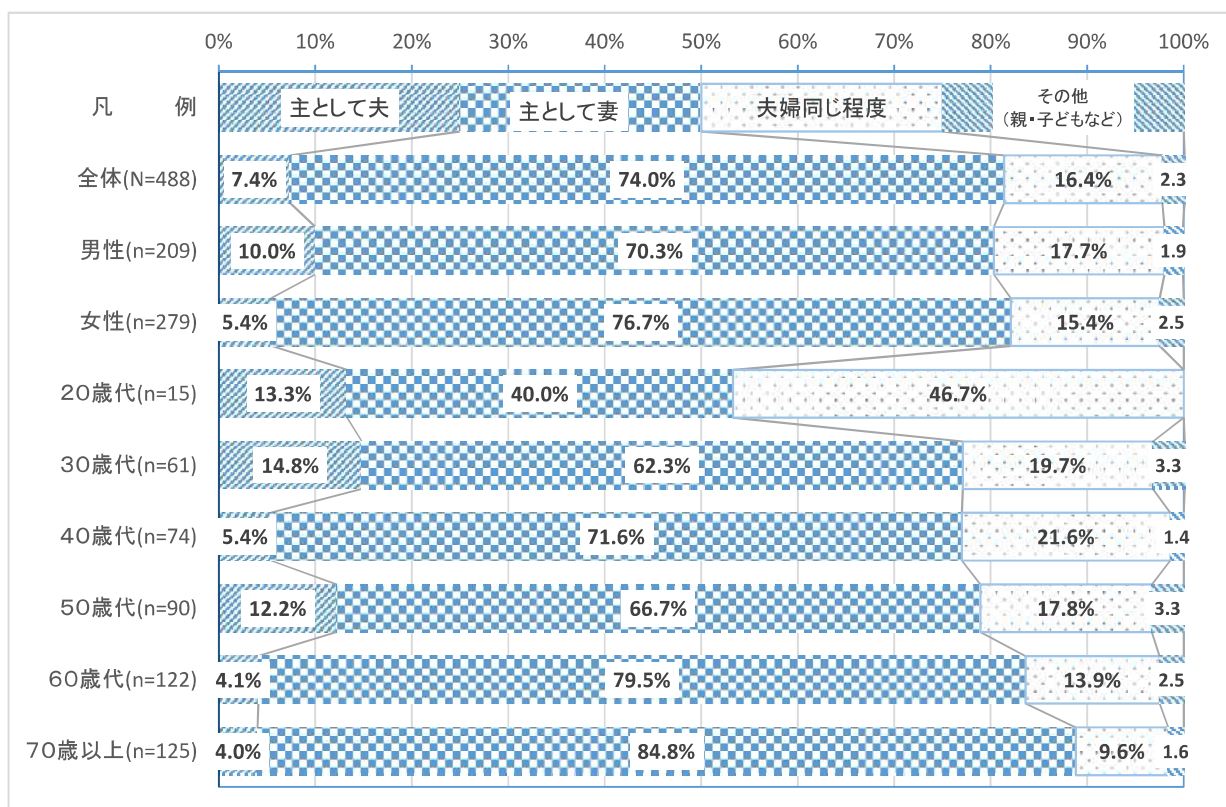
○「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で81.5%となっており、「男性」の66.5%を15.0ポイント上回っている。

<年代>

○全ての年代において、「主として妻」と回答した人の割合が高くなっている。特に、「70歳以上」で82.7%と最も高くなっている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合が、「20歳代」で26.7%と最も高くなっている。なお、「20歳代」に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。

《エ. (家事) 洗たく》



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は74.0%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は7.4%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

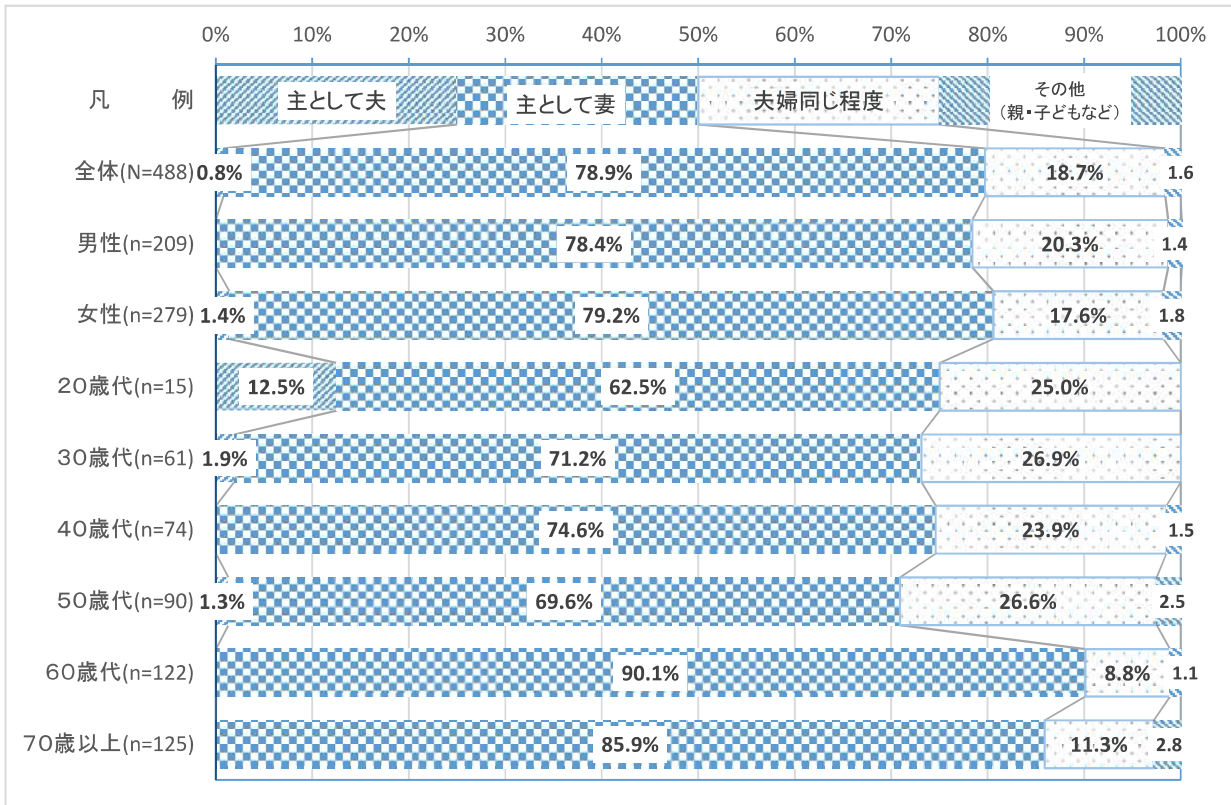
○「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で76.7%となっており、「男性」の70.3%を6.4ポイント上回っている。

<年代>

○全ての年代において、「主として妻」と回答した人の割合が高くなっている。特に、「70歳以上」で84.8%と最も高くなっている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合が、「20歳代」で46.7%と他の年代と比べると最も高くなっている。なお、「20歳代」に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。

《オ.（育児）食事を与える》 ※育児経験者のみ



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は **78.9%** となっており、「主として夫」と回答した人の割合は **0.8%** となっている。

【階層別傾向】

<性別>

○「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で **79.2%** となっており、「男性」の **78.4%** を **0.8** ポイント上回っている。

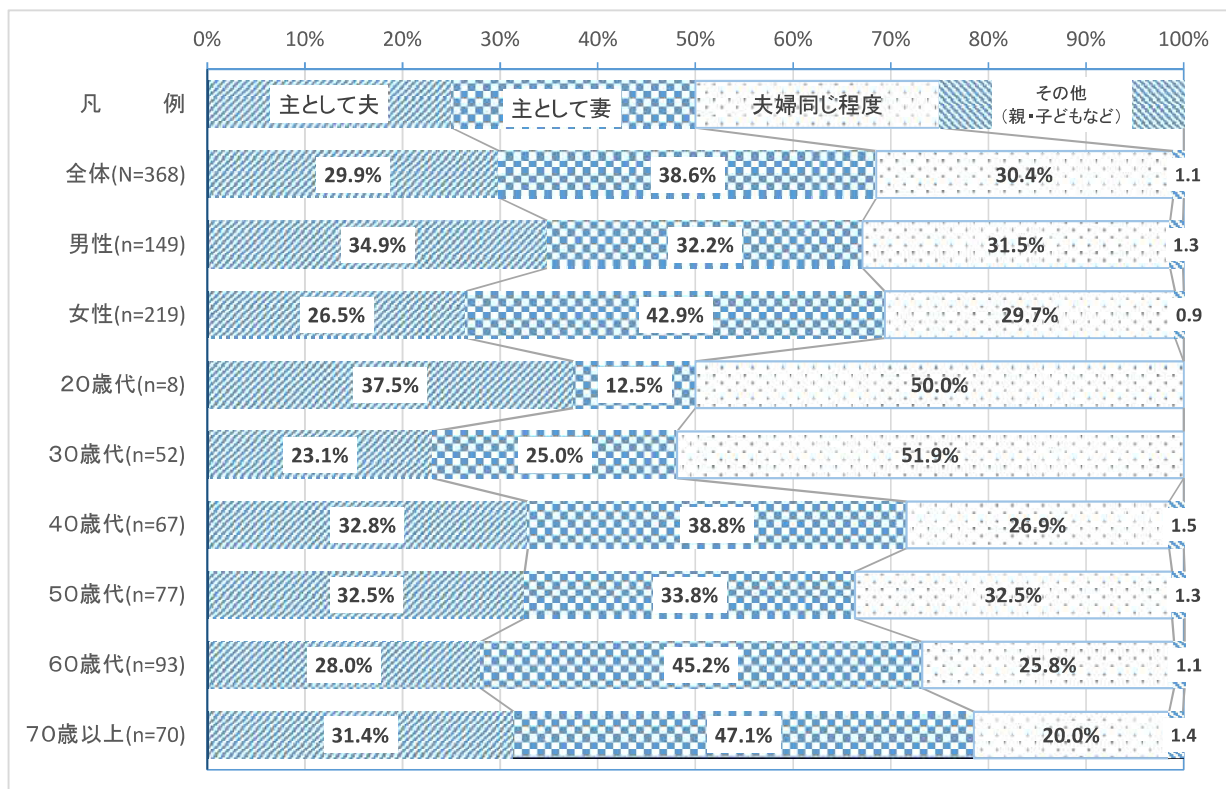
<年代>

○全ての年代において、「主として妻」と回答した人の割合が高くなっている。特に、「**60歳代**」で **90.1%** と最も高くなっている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合は「**30歳代**」で **26.9%** と高くなっており、「**20歳代**」から「**50歳代**」までの年代においては **2割** を超えている。

○「主として夫」と回答した人の割合は「**20歳代**」で **12.5%** と他の年代に比べると最も高くなっている。なお、「**20歳代**」に関しては、回答数が少なく慎重に分析する必要がある。

《カ.（育児）お風呂に入れる》 ※育児経験者のみ



【全体】

- 「主として妻」と回答した人の割合は 38.6%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は 29.9%となっている。
- 「夫婦同じ程度」と回答した人の割合は 30.4%となっており、3割を超えている。

【階層別傾向】

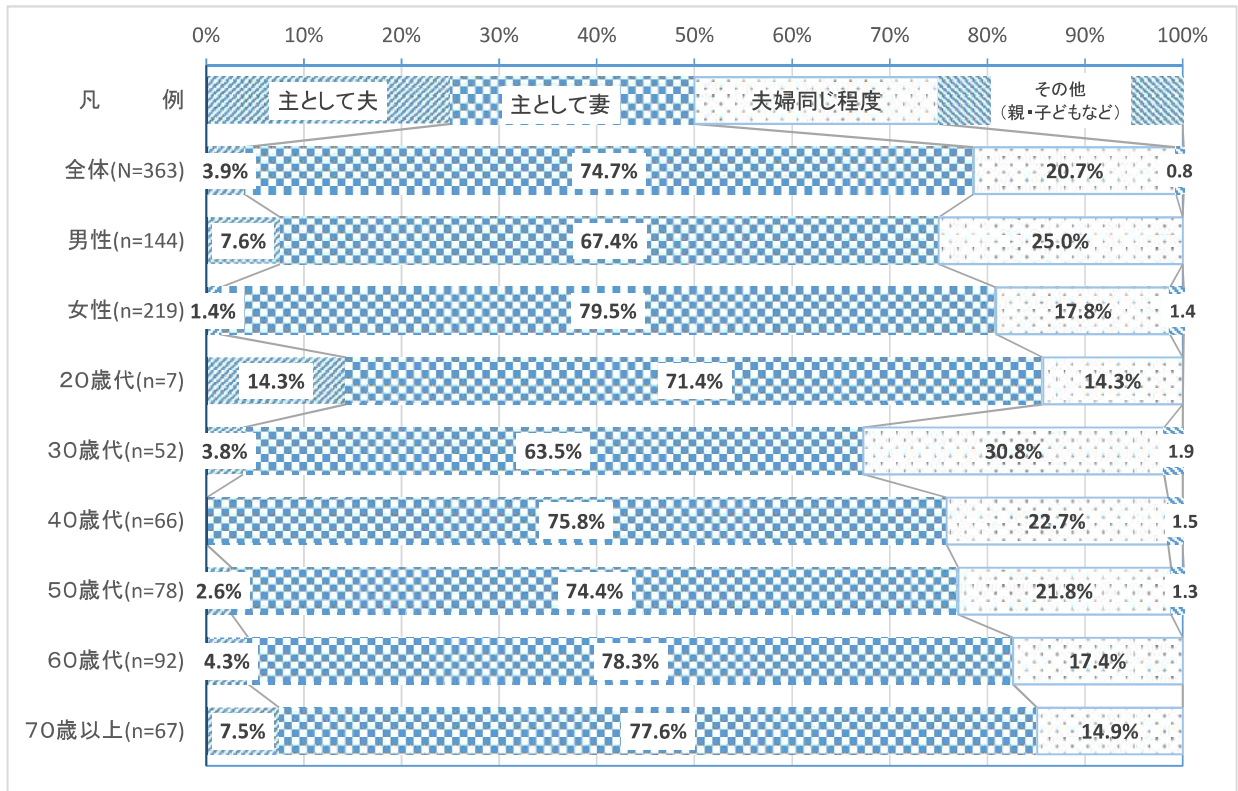
<性別>

- 「主として夫」と回答した人の割合は「男性」で 34.9%となっており、「女性」の 26.5%を 8.4ポイント上回っている。
- 男性においては、「主として夫」と回答した人の割合は 34.9%となっており、「主として妻」を 2.7ポイント上回っている。

<年代>

- 「主として妻」と回答した人の割合は「70歳以上」で 47.1%と高くなっている。
- 「夫婦同じ程度」と回答した人の割合は、「30歳代」で 51.9%と5割を越えており、他の年代と比べると最も高くなっている。

《キ.（育児）寝かしつける》 ※育児経験者のみ



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は74.7%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は3.9%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

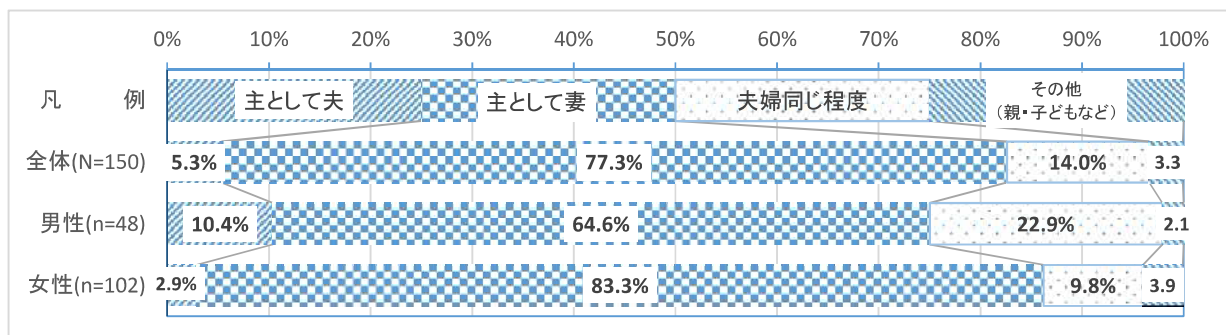
○「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で79.5%となっており、「男性」の67.4%を12.1ポイント上回っている。

<年代>

○全ての年代において、「主として妻」と回答した人の割合が高くなっている。特に、「60歳代」で78.3%と高くなっている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合は「30歳代」で30.8%と最も高くなっており、30歳代以降年代が上がるにつれ、その割合は低くなっている。

《ク. (介護) 食事に関する介護》 ※介護経験者のみ



【全体】

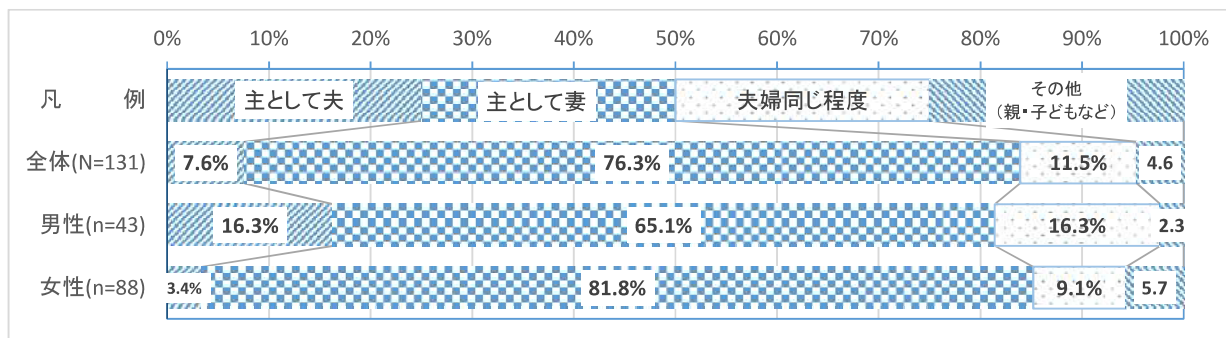
- 「主として妻」と回答した人の割合は77.3%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は5.3%となっている。

【階層別傾向】

<性別>

- 「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で83.3%となっており、「男性」の64.6%を18.7ポイント上回っている。
- 「夫婦同じ程度」と回答した人の割合は「男性」で22.9%となっており、「女性」の9.8%を13.1ポイント上回っている。

《ケ. (介護) 入浴介助、体を拭く、着替え》 ※介護経験者のみ



【全体】

- 「主として妻」と回答した人の割合は76.3%となっており、「主として夫」と回答した人の割合は7.6%となっている。

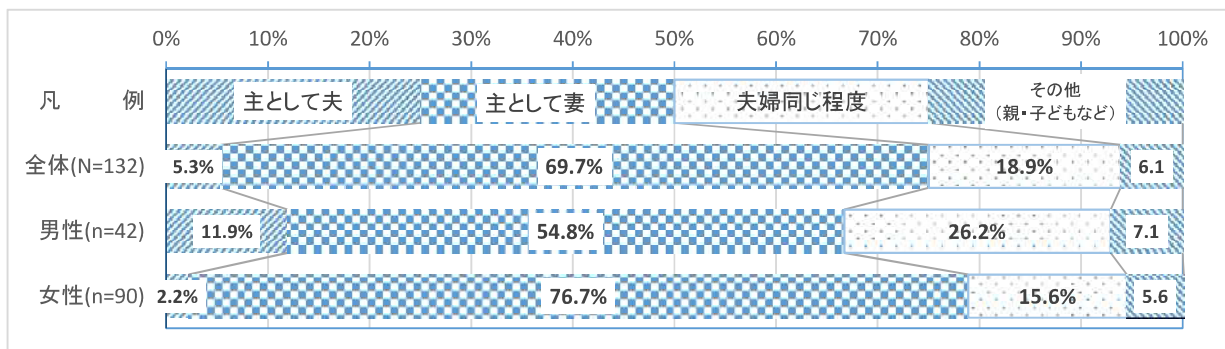
【階層別傾向】

<性別>

- 「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で81.8%となっており、「男性」の65.1%を16.7ポイント上回っている。
- 「主として夫」と回答した人の割合は「男性」で16.3%となっており、「女性」の3.4%を12.9ポイント上回っている。



《コ. (介護) 排せつ介助 (おむつ交換、トイレまで連れて行くなど) 》 ※介護経験者のみ



【全体】

○「主として妻」と回答した人の割合は **69.7%** となっており、「主として夫」と回答した人の割合は **5.3%** となっている。

【階層別傾向】

<性別>

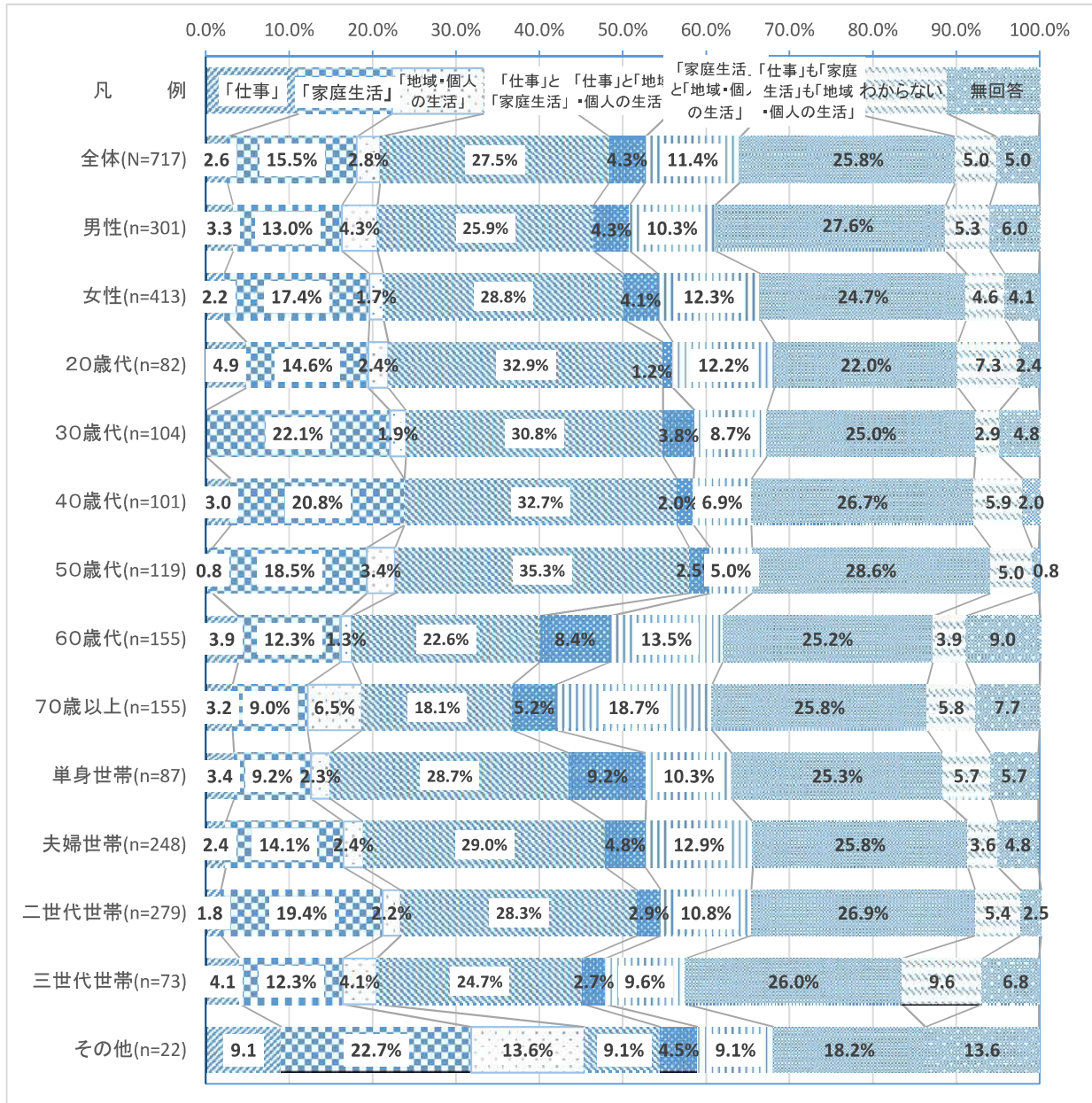
○「主として妻」と回答した人の割合は「女性」で **76.7%** となっており、「男性」の **54.8%** を **21.9** ポイント上回っている。

○「夫婦同じ程度」と回答した人の割合は「男性」で **26.2%** となっており、「女性」の **15.6%** を **10.6** ポイント上回っている。

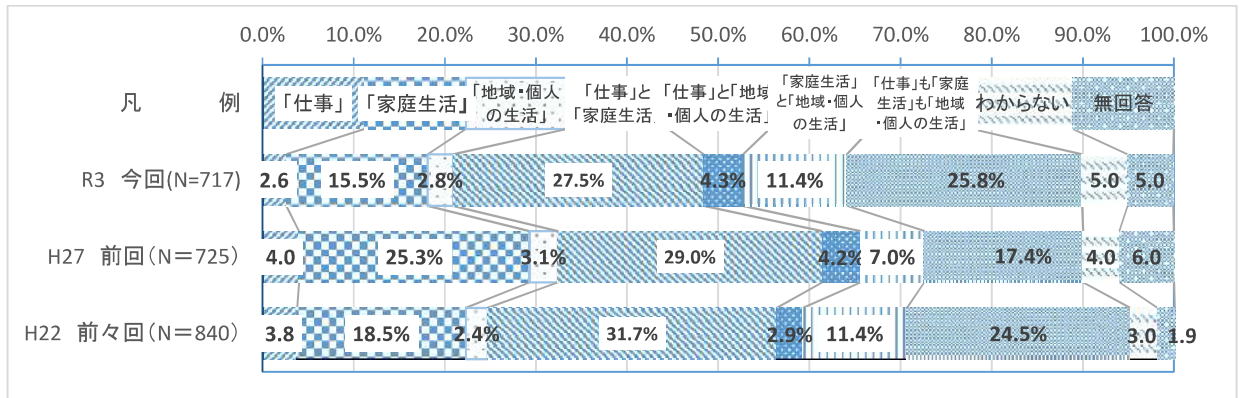
## (2) 仕事と家庭・地域生活の両立 (理想と現実)

問 1 3 あなたの生活の中での優先度について、あなたの理想に最も近いもの及びあなたの現実 (現状) に最も近いものを、1つずつ選んで○をつけてください。

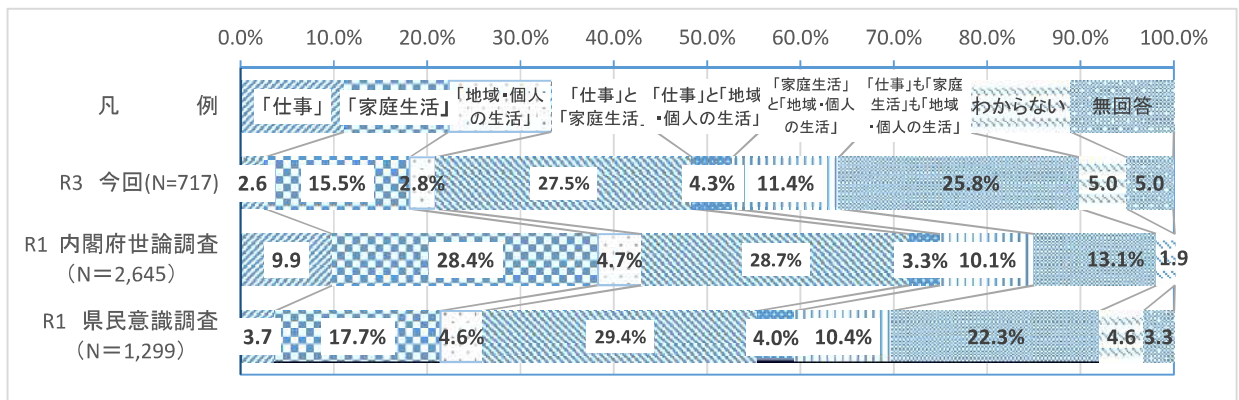
### 【理想】



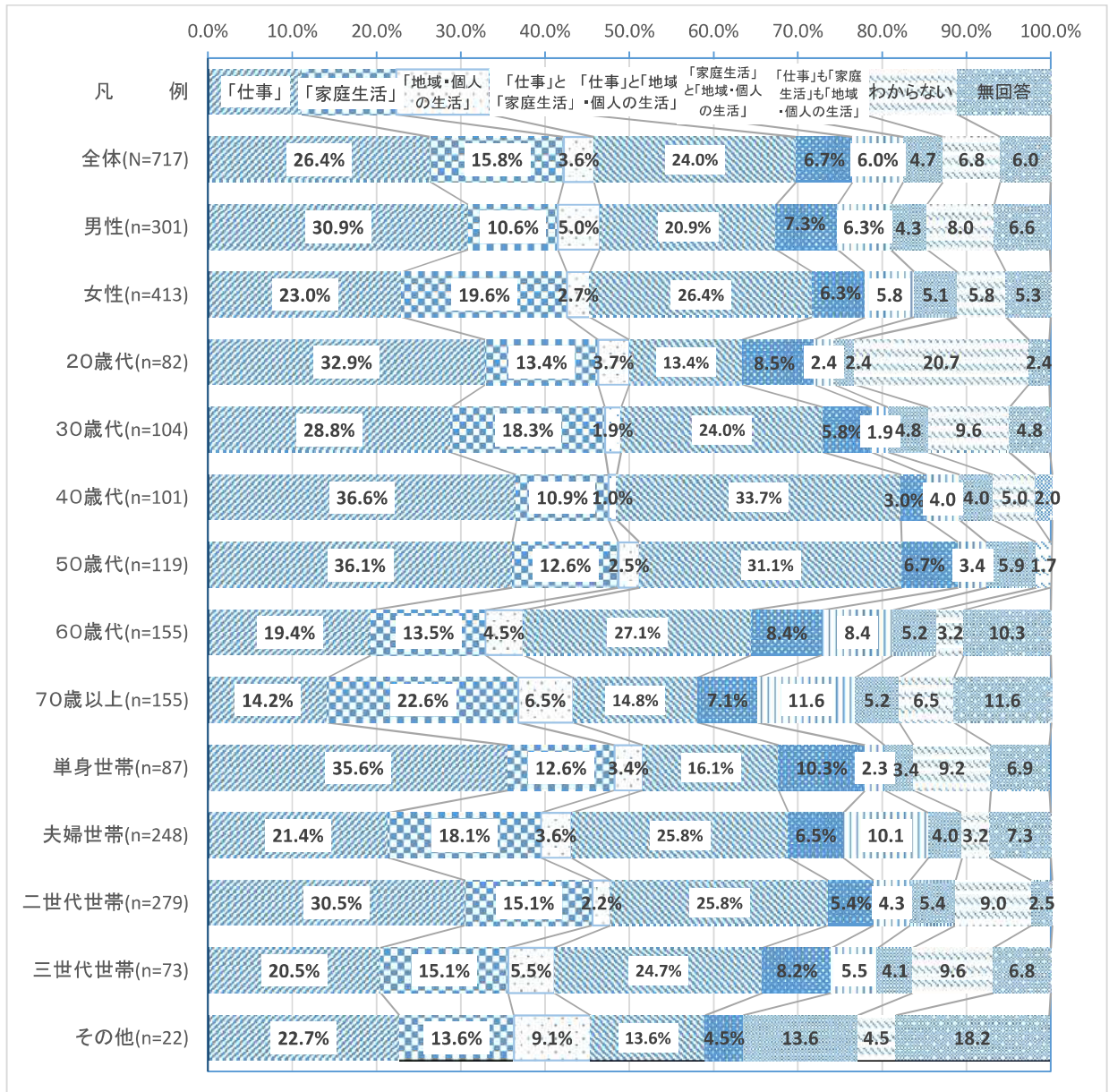
<前回・前々回調査との比較>



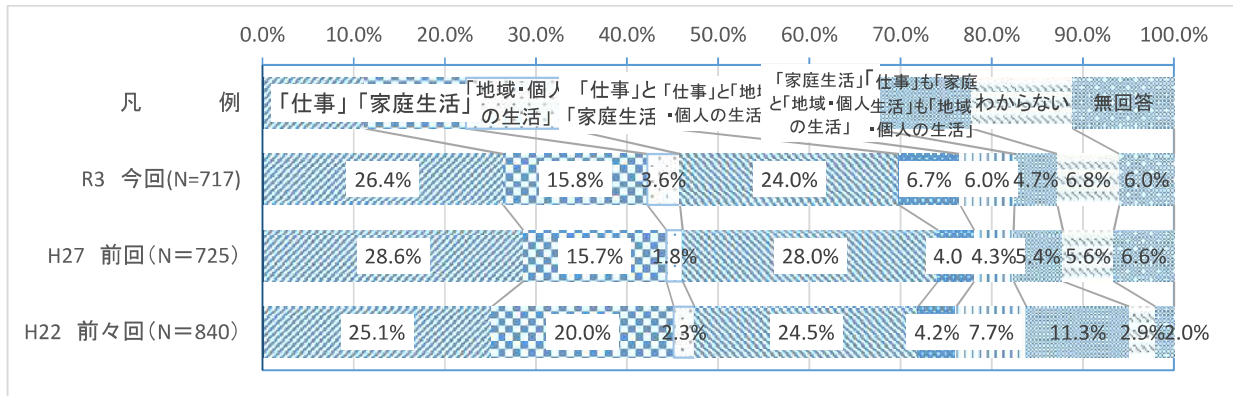
<他統計結果との比較>



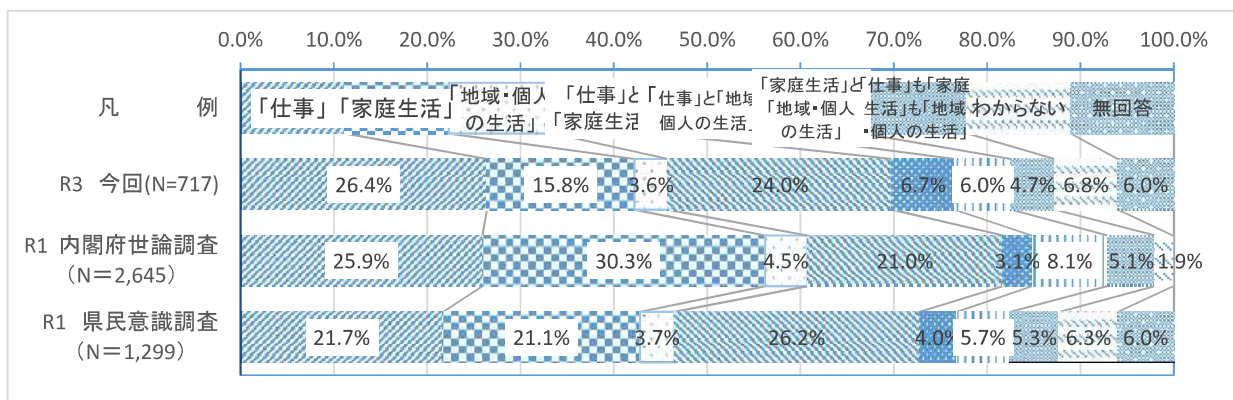
【現実】



<前回・前々回調査との比較>



<他統計結果との比較>



【全体】

○「理想」においては、『複数の活動を優先』と回答した人の割合が **69.0%** となっており、『単一の活動を優先』の **20.9%** を上回っている。しかし、「現実」においては、『単一の活動を優先』と回答した人の割合が **45.8%** となっており、『複数の活動を優先』の **41.4%** を上回っている。

※『単一の活動を優先』 = 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を優先

※『複数の活動を優先』 = 「仕事と家庭生活」、「仕事と地域・個人の生活」、「家庭生活と地域・個人の生活」、「仕事も家庭生活も地域・個人の生活」をともに優先

【階層別傾向】

<性別>

(男女)

○「現実」において、男性は「仕事を優先」と回答した人の割合が **30.9%** と最も高く、女性は「仕事と家庭生活をともに優先」と回答した人の割合が **26.4%** と最も高くなっている。

(男性)

○「仕事を優先」と回答した人の割合は「現実」が **30.9%** となっており、「理想」の **3.3%** を **27.6** ポイント上回っている。

○「仕事と家庭生活をともに優先」と回答した人の割合は「現実」が **20.9%** となっており、「理想」の **25.9%** を **5.0** ポイント下回っている。

(女性)

- 「仕事を優先」と回答した人の割合は「現実」が**23.0%**となっており、「理想」の**2.2%**を**20.8**ポイント上回っている。
- 「仕事と家庭生活をともに優先」と回答した人の割合は「現実」が**26.4%**となっており、「理想」の**28.8%**を**2.4**ポイント下回っている。

<年代別>

- すべての年代において、「仕事を優先」と回答した人の割合は「現実」が「理想」を上回り、「仕事も家庭生活も地域・個人の生活も全て優先」と回答した人の割合は「現実」が「理想」を下回っている。

<世帯状況別>

- 『複数の活動を優先』と回答した人の割合は、「理想」が「単身世帯」、「現実」は「夫婦世帯」が最も高くなっている。

【前回・前々回との比較】

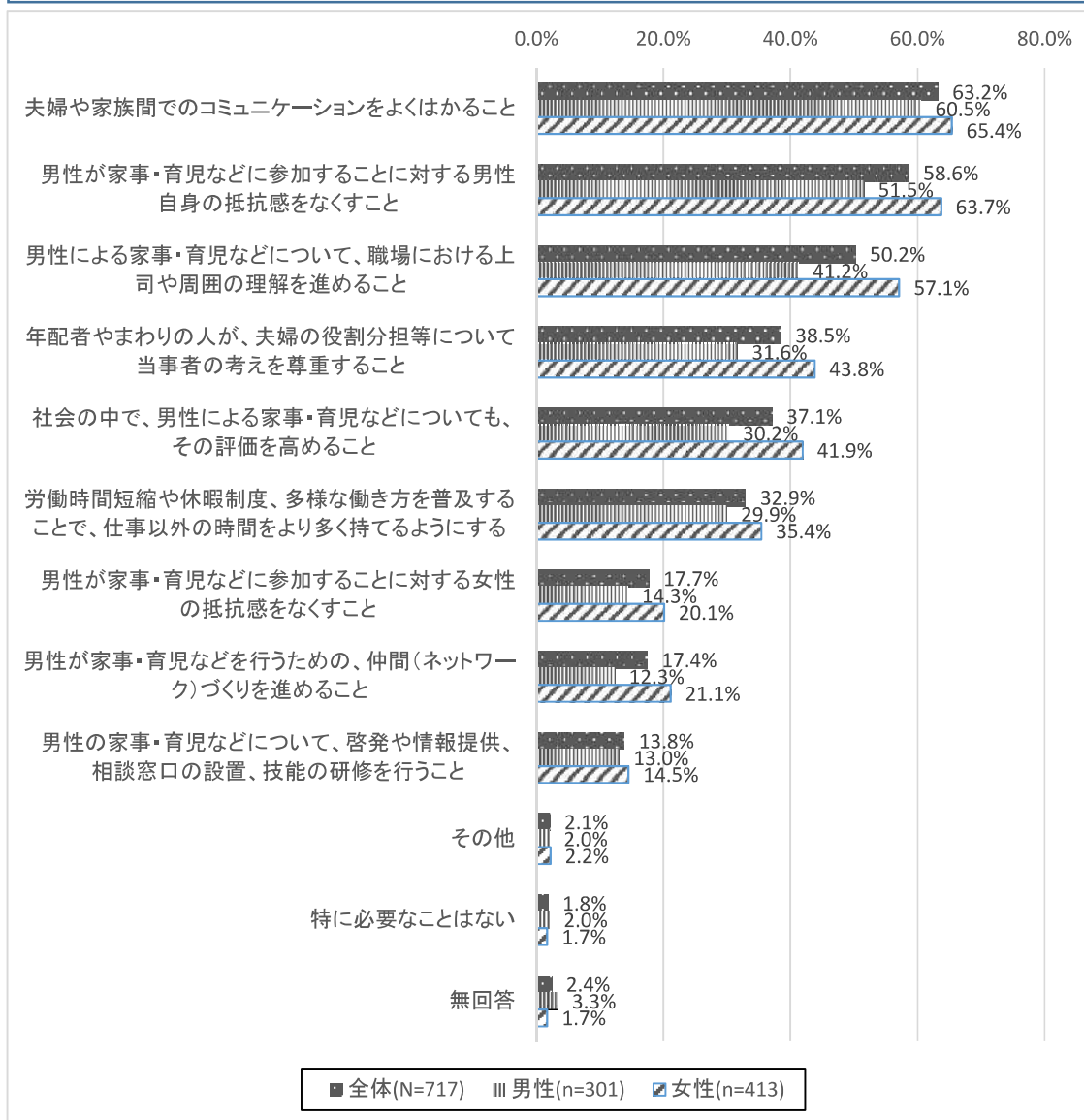
- 『複数の活動を優先』と回答した人の割合は、「理想」が**69.0%**となっており、前回比は**11.4**ポイント増、前々回比は**1.5**ポイント減となっている。
- 『複数の活動を優先』と回答した人の割合は、「現実」が**41.4%**となっており、前回比は**0.3**ポイント減、前々回比は**6.3**ポイント減と減少傾向にある。

【他統計結果との比較】

- 令和元年に実施された内閣府による世論調査・県民意識調査と比較すると、「理想」においては、本市の『複数の活動を優先』と回答した人の割合は、全国と比較して**13.8**ポイントと高くなっている。県と比較して**2.9**ポイント高くなっている。  
「現実」においても、『複数の活動を優先』と回答した人の割合は、全国と比較して**4.1**ポイントと高くなっている。県と比較しても**0.2**ポイント高くなっている。

### (3) 男性が家庭・地域活動へ参加するために必要なこと

問14 男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から選んで○で囲んでください。(いくつでも)



#### 【全体】

○「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」と回答した人の割合が63.2%と最も高く、次いで「男性が家事・育児などに参加する事に対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が58.6%、「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」が50.2%と続いている。

#### 【階層別傾向】

○「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること」と回答した人の割合は「女性」で57.1%となっており、「男性」の41.2%を15.9ポイント上回っている。  
 ○「特に必要なことはない」を除く全ての項目で、「女性」が「男性」を上回っている。